

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名 <b>アブソリューション・フレックス</b>	投球者 <b>徳江 和則</b>	センター <b>平和島スターボウル</b>
RG <b>2.540</b>	△RG <b>0.032</b>	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

**テストボール：アブソリューション・フレックス**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離  **5** インチ

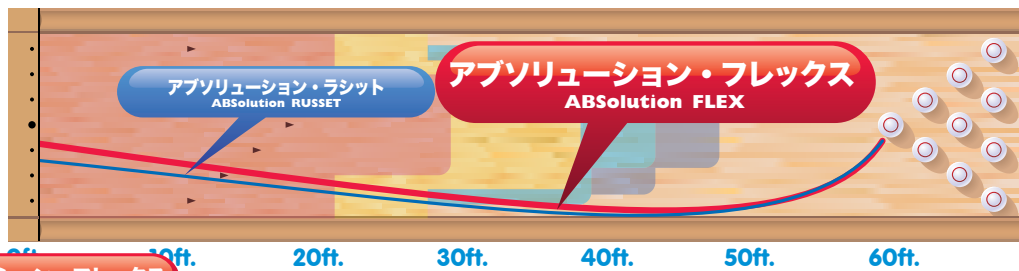
表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

**比較対照ボール：アブソリューション・ラシット**

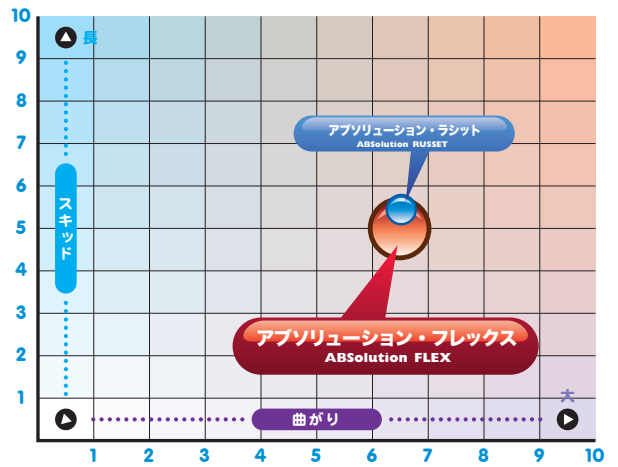
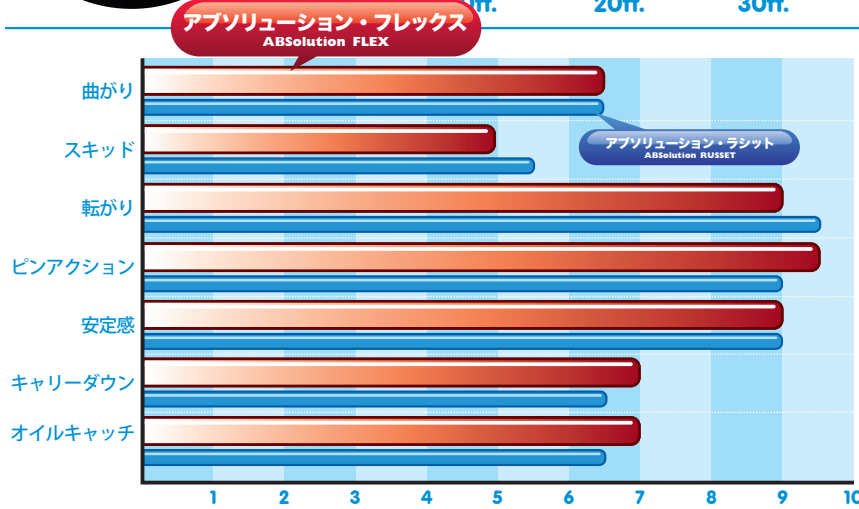
フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離  **5** インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



### ボールの評価

ボールのリアクションを担うカバーストック。Ra値を構成する表面の凹凸に独創性を持たせ、如何にPerformanceとしてレーン上で表現させるか。今回の新しいABSolutionは、全く新しい分子構造の特性をもつ新素材のリアクティブウレタンであり、スキッドレベル、オイルキャッチ、バックエンドリアクション、そしてさらに強化されたピンアクションを実現させた高いレベルの「全く新しいベンチマークボール」として発表できる日がきました。従来のリアクティブウレタンと比べ架橋密度を低くコントロールされた日本初の「低密度架橋エラストマー構造」(分子と分子の間に橋をかけて連結させる)のCover Stockは、従来のリアクティブウレタンよりも柔軟性が高く、接地面を増やす役目を担います。それは同時にオイル上での安定感を向上させるだけでなく、コントロールできる領域を格段に引き上げることができます。そしてCover Stockの柔軟性はピンアクションにも反映され、日本独自の衝撃吸収コアシステムと連動することで1ランク上のピンアクションも同時に実現させました。(当社比較)

投球したイメージは、mediumコンディションでのコントロール性を含めた使用領域の広さとストライク率の高さは従来のリアクティブウレタンを遥かに上回る仕上がりになっています。今までのリアクティブ素材に比べスキッドレベルを保ち、持続的なキャッチは向上させていますが、フリップなバックエンドリアクションには強さも感じ、しっかりとコントロール性も感じることができます。

この新しいABSolutionが今後次世代のリアクティブの基準となる分子構造となるでしょう。

### 特記事項

**mediumコンディションでこのボールより良いボールを探すのは難しいぐらい、すべてにおいて拘りつけて作り上げたボールです。投げれば必ず「最適なベンチマークなボール」として、あなたをサポートしてくれるでしょう。**